

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年5月24日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0891100026		
法人名	株式会社 ケアホームなかお		
事業所名	グループホーム 香	ユニット名	1ユニット
所在地	〒300-2505 茨城県常総市中妻町1023-2		
自己評価作成日	平成21年10月27日	評価結果 市町村受理日	平成22年5月17日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成21年12月10日	評価確定日	平成22年4月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>「笑顔の絶えない生活環境を目指して」という、事業所の理念を基にアットホームの雰囲気の 中、日々の生活の中で利用者が自分らしく自由に生活できる環境を作っています。 また、利用者それぞれが活動的に楽しみを持ちながら生活できるように、さまざまな行事や外出 の機会などを提案しています。 さらに地域社会の一員としてのグループホームを目指し、地域交流会や運営推進会議等により交 流を図っています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>利用者にできるだけ活動的な生活をしてもらうことを第一に考え、様々な行事や外出の機会を設 け、利用者の五感を刺激したり地域との交流に積極的に取り組んでいる。 職員は目配りや気配りを心がけ、一人の利用者に偏ったケアにならないようできるだけ個別性 のある支援を心がけている。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「笑顔の絶えない生活環境を目指して」という、事業所独自の理念を掲げている。掲示することや会議等の話し合いの中で共有し実践している。	「笑顔の絶えない生活環境をめざして」を理念に掲げ、利用者の笑顔の絶えない事業所を目指して一人ひとりを尊重したケアと楽しみのある生活を支援している。	地域や利用者のニーズの変化に応じながら、利用者が笑顔の絶えない生活を送るために、より具体的な理念を作成することを期待する。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日々の散歩や地域の方の訪問で日常的に交流している。また、年2回行った地域交流会や地域の行事、清掃活動などに積極的に参加している。畑も近隣住民の方より借りていて野菜栽培を通じても交流を持っている。	自治会に加入していないが、利用者は日頃より買い物や散歩時に地域の人々と会話を楽しむとともに、地域の夏祭りに参加して交流を図っている。 職員は利用者と一緒に地域の防犯パトロールや清掃活動に参加したり、年2回の事業所行事に地域の人々を招待し交流に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議にて発表、提案している。また、実際に地域の方が訪問の際に生活状況を見ていただき説明もしている。個別の相談も受け付けていて実際に相談も受けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所からの報告、意見は頂いているが話し合いの場としては不足している。	運営推進会議は市職員や民生委員、家族等の代表、法人代表者、職員などで3ヶ月に1回開催している。 会議では事業所からの報告や家族等からの質問、意見などを話し合い、出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議にて報告、また時間を頂き相談も行っている。また市主催の研修会や連絡会などに出席している。	グループホーム連絡会に加入するとともに市の主催する連絡会には積極的に参加し情報交換をしている。市担当者と要介護更新認定申請などの事務手続きや様々な疑問点などを気軽に相談できる関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	入社時研修や会議等により職員全員に身体拘束禁止について勉強を行っている。日中、玄関は開放しており自由に出入できる。居室も施錠はなく、していない。	新規採用職員研修や施設内勉強会を通じて、全職員で身体拘束の弊害について十分に検討し理解を深めるために話し合っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	新人研修や会議において学習している。また、虐待防止マニュアルを常時閲覧できるようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	新人研修にて学習している。研修としては不足している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	時間をかけて行い。なるべく2名以上に説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常会話や面会時に意見や要望を聴いている。外部者については契約時に相談受付機関の紹介を行っている。	職員は利用者からは日々の会話や表情、行動から要望を把握するよう努めるとともに、家族等からは年2回の地域交流会や来訪時に意見や要望を聴き、出た意見等を運営やサービスの質の向上に活かしている。意見箱を設置するまでには至っていない。	意見箱を設置するとともに、遠方で事業所に来られない家族等や直接意見等を出し難い家族等に配慮し、無記名で家族にアンケートを実施することを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の事業所会議において、職員の意見を収集し話し合っている。また、職員ノートからも意見も吸い上げている。	管理者は月1回ミーティングで職員の意見や要望を聴取するとともに、職員の気付いたことや思ったことを書き留めるノートを設置し、意見を出し易い環境づくりに心がけている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の勤務状況、技術の向上を考慮し、自給・職務・職責手当の額を昇給している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	現在、外部研修を受ける機会が少ない為、これから積極的に機会を確保していく。内部研修は月1回のスタッフ会議において実施し、技術の向上に努めていきたいと考えている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同業者の実践者発表会、講習会に参加させていただきサービスの質の向上を図っている。また、他の事業所の訪問見学を計画している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	必ず訪問調査で本人と面会し、本人の話を傾聴するようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	必ず訪問調査を行い、書面により基本運営方針を説明した上で、家族の話を傾聴するようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時においては入所以外の提案もさせていただいている。また、本人担当のケアマネジャーやソーシャルワーカーと相談もしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活の中で買い物、調理、洗濯などを本人のペースで協力しながら行っている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月に1回職員より手紙を送付し本人の生活状況を報告し、面会時や電話時にご家族様と相談している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の馴染みのある場所に外出する機会を設け、可能な方は外泊を幹旋。お盆やお彼岸にはそれぞれお墓参りに行った。	利用者を取り巻く人や場所との係わりを大切にし、利用者のかかりつけの理髪店に出かけたり、定期的に自宅に戻ったり、近隣の知人が遊びに来たりするなど、職員は利用者が希望する関係が途切れないよう継続的な支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	それぞれの関係を把握し、食事の席の配置や余暇活動のメンバーとして配慮させていただいている。また、全体で行う余暇活動などにはなるべく全員が参加できるように配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	1名のサービス利用終了者がいるが、隣接するデイサービスを利用して、自宅での生活の経過確認を行っている。また、必要なら相談・支援できる体制にある。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入所時に本人、家族から生活の希望、意向を聞き。実際の生活の一つ一つに関しても希望、意向を聞くようにしている。	職員は利用者と生活を共にする中で、利用者の言動やしぐさから思いや希望の把握に努めている。 現在意思表示の困難な利用者はいない。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の調査にて、本人や家族、関係者から十分話を聞き、フェースシートやアセスメントシートに記入している。また実際の自宅等での生活環境を見ることにより把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケース記録に一日の生活状況等を記入。本人の現状の生活や能力の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	その時々本人や家族の意見や希望を聞き、介護計画に反映するようにしている。	介護計画は利用者や家族等、必要な関係者から意見を汲みあげ、定期的に見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のケース記録の他に業務日誌や職員ノートにより全職員が利用者様の情報を共有。実践や介護計画の見直しにつなげている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	隣接しているデイサービスと余暇活動や行事活動などで交流している。受診の送迎や、付き添いも状況に応じて行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	マッサージなどのボランティアは受け付けているが、地域資源を把握し活用しているとはいえない。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に1～2回の往診による受診や通院の援助を行い適切な医療を受けられるように支援している。	利用者や家族等が希望する医療機関を受診できるよう支援している。利用者が安定した健康状態を維持できるよう協力医療機関の定期的な往診を実施している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	今現在は看護職員は在籍していません。今後の課題として整備を進めています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時に本人の医療情報や生活状況を病院に報告している。また、入院中も本人の経過を確認し、退院に向けた話し合いも行っている。関係協力医療機関以外の病院との関係作りは十分行えていなく、今後の課題の一つ。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時の段階で本人・家族に対して見取り介護について説明し、同意書も記入していただいている。	事業所はターミナルケアマニュアルや看取りに関する同意書を作成するとともに、家族等や利用者の希望に応じてターミナルケアを行う方針となっているが、利用者や関係者の人々と話し合うまでには至っていない。 ターミナルケアを実施するにあたり看護職員を配置したり訪問看護ステーションと医療連携体制を構築するまでには至っていない。	ターミナルケアを実施するにあたり、看護職員を配置するか訪問看護ステーションと連携体制を整備するなど、事業所としての取り組み体制を構築することを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署主催の救命救急の講習会（11/20開催）に事業所として参加を予定している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回、地域住民とともに避難訓練を行っている。また、災害時協力者として地域住民何軒かに依頼している。	防火管理責任者を選任し、消防署指導のもと定期的に地域住民の協力を得た避難訓練を実施している。 災害時に備え地域住民の協力者を何軒か依頼しており、協力が得られる体制となっている。	災害に備えて食糧や飲料水などを備蓄することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様本人を人生の先輩として尊敬し、尚且つ温かみのある言葉かけや対応を心がけている。	職員は利用者の尊厳を大切にし、声かけやトイレ誘導などの対応に配慮している。 個人ファイルやケース記録などは事務室で一元的に管理し、情報の漏洩防止に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活のすべてにおいて、本人が出来ることは自分自身に行ってもらい、援助が必要なことは本人の希望を聞きながら本人と一緒に行うようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床、就寝は本人のペースで行ってもらっている。一日の過ごし方については職員から提案はするが、過ごし方を決定するのは本人で自由に過ごしてもらっている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	更衣の支援が必要な利用者様でも本人に洋服を選んでいただいている。整容についても本人の希望に沿って支援していて、化粧品を用意し化粧している利用者様もいる。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の買い物は必ず利用者様と職員が一緒に行き、その日のメニューを一緒に決める。また、食材の簡単な調理や食器拭きを利用者様が行っている。	事業所の畑で収穫した季節の野菜を食材に取り入れ、利用者の能力に応じて職員と一緒に野菜の皮むきをしたり刻んだりするほか配膳や下膳をしている。 職員は利用者が交代で食材の買い出しに行けるよう支援をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や水分摂取量を毎日記録して、1人1人が十分に必要量を摂取できるように、メニュー、食事形態等の変更を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ほとんどの方が自分自身で行えるように口腔ケアのための環境整備を行っている。支援が必要な方や自分から行わない方はケアプランに盛り込み支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄記録付け排泄パターンを把握し、声かけ誘導を行い、すべての方がトイレやポータブルトイレにて排泄を行っている。本人たちもトイレで排泄できるという自身をつけている。おむつ等の個々の使用量も減ってきている。	職員は排泄チェック表を活用し利用者の排泄パターンやサインを把握するとともに、声をかけたり誘導しトイレでの排泄支援をしているため、現在ではおむつを使用している利用者はいない。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日常的に野菜を食事メニューの中に多く取り入れていて、特に便秘の方がいるときなどは排便を促す食事メニューを提供している。水分も果物、ゼリー等でも摂取していただいている。軽体操や散歩などで運動も行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日や時間の設定はしてなく、当日に入浴希望を聞き希望時間に入浴するように支援している。また、入浴を無理に進めることはせず、自ら入浴希望するように努力している。	入浴は曜日や時間帯を決めずに毎日支援している。 入浴を拒む利用者に対しては散髪後や行事の前、外出の後などに入浴を促し、個々に支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	起床や就寝時間は個人の生活パターンに合わせて支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の処方箋を確認し、さらに医師や薬剤師に説明を受けている。職員が服薬する日や時間ごとに仕分けを行い、服薬時に手渡している。また、服薬状況を記録している。症状の変化はバイタルチェック等で確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の家事を行っていただいたり、本人が興味ある余暇活動を提案している。また、畑など昔行っていた仕事を行ってもらったり、出来ないときはアドバイスをもらったりして張り合いや喜びを感じてもらっている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物は毎日必ず利用者様と出かけている。天候や体調により散歩や季節の花を見に行くなど出来るだけ週2～3回は外出の機会を作っている。個人の行きたい場所については近場であれば順番に可能な限り出かけている。	職員は利用者が日常的に散歩に出かけたり、自動販売機にジュースを買いに行ったり、順番で食材の買い出しに行けるよう支援するとともに、外出する頻度を増やすよう努めている。 花見や夏祭り、花火大会、名所めぐりなどに月1回外出ができるよう計画し、利用者の希望にそって柔軟な外出支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人個人の生活費は職員が管理しているが、お小遣い程度のお金は本人が持参し、買い物等で使えるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や大切な人が電話対応可能な時間をあらかじめ職員が聞き、本人が希望した時はその時間に電話している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花やカレンダーを飾ることにより季節感や生活感を感じてもらえるよう配慮している。	広く長い廊下は利用者の歩行訓練や体操ができるスペースとなっているほか、食堂の一角に畳コーナーやソファを設置し、利用者の身体状況に配慮した空間づくりとなっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにソファを置き、数人で団欒したり1人でのんびりできるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内の家具等の配置は本人と家族に決めていただいている。また、入所時に出来るだけ本人が使い慣れたものを持参してもらうように説明している。	経営者は利用者が以前使用していた馴染みの物品をできるだけ多く持ち込んでもらおうと考え、あえて居室に物入れを作らず少し広めの設計となっている。 利用者の居室は馴染みの物品が置かれ、利用者一人ひとりが落ち着ける場所となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内はバリアフリーになっていて、トイレや浴室廊下は手すりを設置、出来るだけ自立で移動、移乗等が安全に出来るようにしている。廊下は広いスペースを取っていて車椅子でも自由に行動できる。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム香

作成日 平成22年5月13日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議は2カ月に一度開催することを期待する。	2カ月に一回、運営推進会議の開催	運営推進委員会において次回開催日を委員会メンバーに告知する。	2カ月
2	12	ターミナルケアを実施するにあたり、介護職員を配置するか訪問介護ステーションと連携体制を整備するなど、事業所としての取り組み体制を構築することを期待する。	訪問介護ステーションと連携をとる。	いくつかの訪問介護ステーションと話し合いを持つ予定。	6か月
3	6	意見箱を設置するとともに、遠方で事業所に来れない家族等や直接意見等を出し難い家族等に配慮し無記名で家族にアンケートを実施することに期待する。	意見箱の設置及びアンケートの実施	意見箱はすでに設置済みまたアンケートは来月行う予定。	1か月
4	13	災害に備えて食料や飲料水などを備蓄することを期待する。	食料や飲料水の備蓄	食料や飲料水の備蓄をすでに行っている	達成済
5	1	地域や利用者のニーズの変化に応じながら、利用者が笑顔の絶えない生活を送るために、より具体的な理念を構築することを期待する。	新しい理念の構築	経営者、管理者等は職員・地域・家族・利用者の意見を聞き、会議等で新しい理念を構築している。	1か月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。